

警察力強化のための組織再編計画(選択と集中)に対するパブリックコメント

番号	種別	受付日	意見内容(要旨)	意見への対応
1	持参	6月16日	① 県警の組織再編計画に賛成する。 ② 再編推進上の意見について ・ 突発事案への即応を確立する必要がある。 ・ 交番・駐在所は適切な位置に配置すること。 ・ 住民等のボランティア体制の確立が必要。 ③ 地区防犯協議会の基盤整備の充実が必要。	①②について 組織再編強化に反映します。 ③について 今後検討します。
2	持参	6月18日	駐在所の移転改築要望 米子署彦名駐在所の移転改築を要望。	交番、駐在所全体の再編計画の中で、検討します。
3	メール	6月24日	無線機を住民が所持し、連絡体制を確立して犯罪を抑止することが必要。	地域住民との連携による犯罪抑止を行う上で、参考にします。
4	持参	"	河原町が智頭署の管轄となることを再考すべく議会での議決文(15.6.19付)を提出。 「鳥取県警察組織再編に関する決議」 ※ 県警の最終案への移行(鳥取署の管轄)を希望。	過渡的な管轄であり、最終的には合併後の鳥取市及び岩美町、智頭町の地区に2警察署を置く方針です。
5	メール	6月25日	③ 県警に本署に近く、常駐の巡査を置く。 ④ 日吉町に駐在所を置く。 ⑤ 日吉町の管轄を、本署に引き継ぐ。	③ 巡査の配置については、再編計画の中で検討します。 ④ ⑤ 日吉町の管轄については、再編計画の中で検討します。

5	FAX	7月8日	① 岸本町は米子署の所管が望ましい。 ② 日南町の駐在所は、4所必要。 面積が県下の1/10と広く県境に接しているため。 ③ 県西部に本部長に次ぐ職位の配置を望む。	①について 再編案では、行政上の効率、警察署の適正規模、合併後の行政区画ごとの治安情勢等を考慮して、各警察署の管轄を策定しております。行政上の効率を低下させないためには、各警察署の管轄の境界を合併後の行政区画の境界と一致させ、一つの行政区画が二つの警察署に分割されることを避ける必要がありますが、岸本町以南の合併動向及び警察署の適正規模の観点を勘案しますと、再編案の区分が最良の選択と考えております。また、再編後の米子署の管轄区域と現溝口署と黒坂署を統合した警察署の管轄区域（ご指摘の岸本町を含む地域）には治安情勢に大きな違いがあり、地域の安全、安心を最大限確保するという観点からは、守備範囲を分けて、それぞれの情勢に合った組織運営をすることが必要であると考えます。 ②について 駐在所については、事件・事故等の業務量、管轄面積等の諸条件を踏まえた上で、世帯数を基準とした配置案を策定したところですが、管轄面積等の評価について見直す必要はないか検討したいと考えております。 ③について 現時点では、ご要望に沿うことは難しいと考えますが、米子署長には、過去の経歴等を考慮し、西部地区の署長等をリードできる人物を配置しております。
6	メール	7月8日	合併したら名和町は八橋署になりますか。	八橋署の管轄として、計画しております。
7	FAX	7月12日	交番、駐在所の減少は時代の変化に逆行。 税金が増えても、県民の安全のために、交番、駐在所を多くし2人以上の人員を配置する必要がある。	警察官の増員については、引き続き努力いたしますが、現在の財政状況から大幅な増員は極めて厳しい状況にあります。 交番、駐在所の再編により、勤務員が専従できる体制となります。
8	持参	7月14日	警察署再編時に、溝口警察署の存続を要望すべく岸本、溝口両町長の要請書(15.7.14付)と両町議会での議決文(15.6.11付)を提出。 「鳥取県警の組織再編後における溝口警察署の存続に関する決議」	現溝口署に、自動車警ら隊を配置し、事案対応に万全を期すとともに、窓口業務に配慮したいと考えております。

9	メール	7月14日	① 駐在所、交番の再編は過疎を誘発。 ② 警察官の増員を検討すべき。 ③ 岩屋堂駐在所は、重要な位置にあり存続すべき。	①について 県民の安全と治安維持を目的に再編したいと考えております。 ②について 引き続き努力いたします。 ③について 駐在所については、事件・事故等の業務量、管轄面積等の諸条件を踏まえた上で、世帯数を基準とした配置案を策定したところですが、管轄面積等の評価について見直す必要はないか検討したいと考えております。
10	メール	7月16日	組織再編は必要なこと。 ①区割りについて 警察署再編は、東部、中部、西部に分割、その他山間部の智頭、日野、境港を加える。 ②一極集中について 県の中央部に県警本部を置くべき。 ③人口比による配置について 人口負担では、人口密度の少ない山間部は行動範囲が広くなり平等とならない。 ④警察官業務の削減について 他に委託できる業務があるのではないかと。警察官と委託員の合同で実施する。 ⑤警察官の人数について 増員を国に働きかけるべき。 ⑥駐在所について 地域住民にとって最も必要なものであり削減すべきではない。 ⑦犯罪者への対応について もっと厳しく対応すべき。	①について 基本的な考えは同じであります。警察活動を行う上において、再編計画で示した8警察署は必要であると考えます。 ②について 警察行政上、県庁所在地の鳥取市に警察本部を設置するのが効果的と考えます。 ③について 警察署の管轄については、人口だけでなく事件、事故等の業務量を勘案した配置を考えております。駐在所については、事件・事故等の業務量、管轄面積等の諸条件を踏まえた上で、世帯数を基準とした配置案を策定したところですが、管轄面積等の評価について見直す必要はないか検討したいと考えております。 ④について 警察力強化の参考にさせていただきます。 ⑤について 引き続き努力いたします。 ⑥について 交番、駐在所の再編により、勤務員が専従できる体制となります。 ⑦について 人権に配慮しつつ犯罪には厳正に対応したいと考えます。
11	持参	7月18日	防犯組織の基盤整備、防犯広報システムの整備を行った上、鳥取県防犯連合会の事業主体を警察署から自治体に移行し、警察の業務負担を軽減することが必要。	今後、検討していきたいと考えます。
12	郵送	"	羽合町に設置する駐在所は、再編計画案では1所になっているが、設置基準の人口世帯数と一致した2所の設置を要望。	合併する湯梨浜町(羽合町、東郷町、泊村)全体を勘案した上、当該地域に駐在所1所としたものですが、今後、意見を踏まえ同合併地域内の配置場所を総合的に検討したいと考えます。

13	メール	7月28日	警察署等の統合・再編は、方針・内容を含め全面的に賛同。	いただいた貴重なご意見を参考に再編計画を進めたいと考えております。
14	郵送	7月29日	警察署の再編は仕方がないが、交番・駐在所の再編計画を再考すべき。 市と町村は仕事内容が異なる。市は犯罪の取締り、町村は犯罪だけでなく地域のよりどころとなっている。 増員と住民の力が大切。	交番、駐在所の再編により、勤務員が専従できる体制となり、治安に対する住民サービスは向上します。 増員については、引き続き努力しますし、住民の方との連携も構築していきたいと考えております。
15	メール	7月31日	①日野郡が黒坂署に統合されることは、やむを得ない。 ②日南町に駐在所2所は少ない。事件等がなく不要であれば駐在所を廃止して交番にすべき。最近の駐在所員は存在の意味が分かってなく、駐在所の奥さんに手当は不要。	①について ご意見を参考にいたします。 ②について 基本的に交番は治安が厳しい市部に配置したいと考えております。交番、駐在所の再編により、勤務員が専従できる体制となります。奥さん手当については、駐在所に居住し事務を補助していただく家族の方についてのみ支給しております。
16	メール	"	建て替えが検討されている智頭署は、今後とも建て替えた上で存続させることが必要。	浜村署、智頭署を建て替える最終的な再編時期には、治安状況、道路事情等諸般の状況を勘案の上、適地に警察署を建て替える予定です。
17	郵送	8月1日	大山町の管轄は米子署を継続要望 警察の管轄と行政区域の一致は必ずしも一致させる必要なく、国立公園内の特異性も充分考慮願う。	合併後の行政区画と警察署の管轄は、原則として一致させるのを基本としており、大山遭難等に関しても所要の人員を配置し万全を期したいと考え、県警察では八橋署の管轄が治安維持上、妥当と考えております。
18	メール	8月4日	①交番、駐在所数を維持し、犯罪多発地区は増強、少ない地区は削減。 ②捜査員の負担を軽減すべく文書処理の効率化を図るべき。交番等の勤務員を内勤に回すことは避けるべき。 ③警察業務の一部を民間委託(例として、駐車違反、速度違反、物損交通事故処理等)すべき。 ④警察官の増員	①について 基本的には、いただいたご意見と再編の基本的考え方は同じと思います。再編により県下の業務負担の均衡化と夜間体制の強化を図り、地域住民の安全と平穏を確保して参りたいと考えております。 ②について 警察官を現場に少しでも多く配置すべく、ご意見を参考にいたします。 ③について 今後検討したいと考えます。 ④について 引き続き努力したいと考えます。

19	メール	〃	①機械化を進め交番に人員を増やす。 ②違法改造車、暴走車の取締りを強化 ③メールなどで気軽に意見を伝えるものが、常にあれば良いと思う。	①について 都市部強化のため、交番に人員を増やすことは必要であります。また機械化については、今後継続的に研究を重ね、効果があるものは取り入れていきたいと思います。 ②について 引き続き交通の安全と円滑を図るべく取締りを強化したいと考えます。 ③について メールでの窓口については今後検討したいと考えます。
20	メール	8月6日	単なる効率化や平準化でなく、安心して生活できる社会が必要。現体制の中で、もっと努力すべき。	鳥取県の治安状況並びに警察官の業務負担、勤務状況は非常に厳しい状況にあり、今のままでは、安全で安心な県民生活を守ることが困難になっております。県警察では、治安を守るために組織再編を行うものであり、その点ご理解いただきたいと思います。
21	郵送	〃	日南町は面積広く、駐在所は少なくとも、3～4必要。	駐在所については、事件・事故等の業務量、管轄面積等の諸条件を踏まえた上で、世帯数を基準とした配置案を策定したところですが、管轄面積等の評価について見直す必要はないか検討したいと考えております。
22	メール	8月7日	あらゆる機会を通じて、地域住民に統廃合のメリットを説明し、住民の不安感を払拭していただきたい。	組織再編にあたっては、住民の不安感を払拭する説明を今後においても実施していきたいと考えております。
23	郵送	〃	①空き交番の減少は、しなくて良い。 交番に緊急連絡要領機器を設置。 ②三朝町の駐在所 2所で大丈夫か。	①について 県警察では、組織再編により、交番勤務員のパトロール強化と空き交番の解消に取り組み、地域住民の不安を解消したいと考えております。また勤務員が不在時の対策として、交番に緊急通報装置の設置や交番相談員を配置するなどして、不在時の対応を行っております。 ②について 三朝町における事件、事故等の業務負担からして2所が適当と考えております。
24	メール	〃	都市部に警察官を増やすことに賛成 完全に警察署をなくすのでなく、駐在所と警察署の中間的な出張所のような形で残すべき。	統合される警察署については、窓口業務等の住民の利便性を確保したいと考えております。
25	持参	8月8日	組織再編後も引き続き、溝口警察署の存続を要望。	現溝口署に、自動車警ら隊を配置し、事案対応に万全を期すとともに、窓口業務に配慮したいと考えております。

26	持参	〃	日南町の駐在所、3所以上の存続を要望。	駐在所については、事件・事故等の業務量、管轄面積等の諸条件を踏まえた上で、世帯数を基準とした配置案を策定したところですが、管轄面積等の評価について見直す必要はないか検討したいと考えております。
27	郵送	〃	警察署の再編は、正しい選択 負担の平均化であれば、5署(東部2、中部1、西部2)が望ましい。	基本的な考えは同じであります。警察活動を行う上において、再編計画で示した8警察署は必要であると考えます。
28	郵送	〃	日南町多里駐在所の存続を要望。	駐在所については、事件・事故等の業務量、管轄面積等の諸条件を踏まえた上で、世帯数を基準とした配置案を策定したところですが、管轄面積等の評価について見直す必要はないか検討したいと考えております。
29	郵送	〃	日南町多里駐在所の存続を要望。	駐在所については、事件・事故等の業務量、管轄面積等の諸条件を踏まえた上で、世帯数を基準とした配置案を策定したところですが、管轄面積等の評価について見直す必要はないか検討したいと考えております。
30	郵送	〃	溝口警察署は残していただきたい。 無くなるのなら、住民が困らない配慮をしていただきたい。	現溝口署に、自動車警ら隊を配置し、事案対応に万全を期すとともに、窓口業務に配慮したいと考えています。
31	郵送	〃	①警察職員の健康管理のために、宿直の翌日は休養が必要。 ②県版ニューディール政策で警察官の増員が必要。 教員の増員より急ぐ。	①について 組織再編が実現すれば、警察署の当直勤務の頻度を下げることができるのでないかと考えます。 ②について 引き続き努力いたします。
32	メール	9月8日	〃	〃
33	メール	〃	〃	〃

32	メール	"	全面的に賛成 ①警察署の統合・再編 ・鳥取署、岩美署、浜村署を統合し、鳥取署を国道9号線バイパス付近に移転新築。 ・智頭署は郡家署と統合し、郡家署建て替え時に河原駅付近に移転。 ・浜村署、岩美署の廃止に伴い、幹部派出所を設け所要の署員により一定の事案に対応。 ・八橋署は赤碕町と中山町の境界付近へ移転新築。 ・大山の遭難対策として、本部直轄の山岳警備隊を新設し、分駐所を大山寺に設置。機動隊の要員派遣も検討。 ・岸本町、溝口町は米子署へ移管し、黒坂署の管轄を日南町、日野町及び江府町とすべき。同署の当直体制強化のため、本部自ら隊西部方面隊を署内に併設。 ・当直責任者の初動捜査指揮の強化が必要。 ②駐在所の統合・再編 ・事案状況を勘案し、必要に応じて駐在所勤務員を複数配置すべき。 ・駐在所勤務員の単身赴任は、極力避ける。 ・駐在所勤務員が休暇であっても、代替警察官が常駐できるようにするとともに、駐在所に代替員の休憩室を設置すべき。 ③都市部警察署の刑事、生安部門の強化 ・捜査員の書類作成を支援すべく、事務吏員を増員して代行可能な業務を行わせ、捜査員を現場に出すべき。 ・捜査員の聞き込み能力の開発が必要。 ・捜査員が地域の実情に即した適切な捜査を実施しているかについて、事後評価・事後検証が必要。 ・機動捜査班の増強が必要。 ④無線自動車警ら隊の配置場所は、現場までの所要時間を検討の上、適切な配車、警ら経路の設定を行うとともに、乗務員の休息・仮眠を配慮することが必要。 ⑤交通機動隊と高速道路交通警察隊の統合、再編の検討	貴重かつ真摯なご意見をいただき、本当に参考となりました。いただいたご意見を警察力強化のため十分に検討したいと考えております。
33	郵送	8月9日	大山町の管轄は米子署を継続要望 警察の管轄と行政区画の一致は必ずしも一致させる必要なく、国立公園内の特異性も充分考慮願う。	合併後の行政区画と警察署の管轄は、原則として一致させるのを基本としており、大山遭難等に関しても所要の人員を配置し万全を期したいと考え、県警察では八橋署の管轄が治安維持上、妥当と考えております。